取扱説明書

ワンタッチ継手

F/M シリーズ

安全にご使用いただくために

ご使用いただく上でまちがった取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながる場合があります。
事故発生がないようにするためにも必ず取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、正しくお使いください。
尚、不明な点がございましたら、弊社へお問合せください。

太陽鉄工株式会社

〒533-0002
大阪府大阪市東淀川区北江口1-1-1
URL:http://www.taiyo-ltd.co.jp

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO 4414※1)、JIS B 8370※2)およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

⚠ 危険:	切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 警告:	取り扱いを誤ったときに、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意:	取り扱いを誤ったときに、人が傷害を負う危険性が想定されるとき、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

※1)ISO 4414:Pneumatic fluid power Recommendations for the application of equipment to transmission control systems
※2)JIS B 8370:空気圧システム通則

⚠ 警告

- 空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
- 充分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。

圧縮空気は取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、充分な知識と経験を持った人が行ってください。

- 安全を確認するまでは、機械・装置の取り扱い、機器の取り外しを絶対に行わないでください。

1)機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。

2)機器を取り外す時は、上述の安全処置が採られていることを確認し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。

3)機械・装置の再起動を行う場合は飛び出し防止の処置を確認してから行ってください。

- 仕様に適合した環境でご使用ください。

原子力・鉄道・航空・車両・医療機器・飲料や食料に触れる機器・娯楽機器・緊急遮断装置・プレス用安全装置・ブレーキ回路・安全機器など人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途や屋外で使用される場合は当社にご連絡くださるようにお願いいたします。

選定における注意事項

 注意

・・接続ねじ部とチューブ接続部が回転する場所には使用しないでください。揺動もしくは回転によりねじ部とチューブ接続部が分離します。

取付けにおける注意事項

 注意

・・取付前に形式、サイズなどを確認してください。また、製品に傷などがないか確認してください。
・・チューブを接続するときは圧力によるチューブの長さなどの変化を考慮し、余祐を取ってください。
・・継手とチューブに捻り、よじり、引っ張り、モーメント荷重などがかからないようにしてください。
継手の破損やチューブのつぶれ、破裂、抜け等の原因となります。
・・チューブが摩耗したり絡ませたり傷がつかないようにしてください。チューブのつぶれや破裂、抜け等の原因となります。
・・ねじ込みの際は下表の推奨締付トルクにて締め込んでください。ねじ込みが浅いと、シール不良や緩み、エア漏れの原因となります。

推奨締付トルク表

ねじサイズ	推奨締付トルクN･m
M5	1.2～1.5
R1/8	7～9
R1/4	12～14
R3/8	22～24
R1/2	28～30

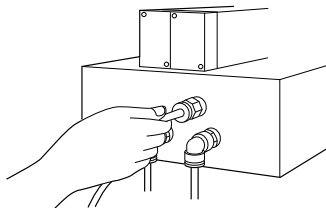
・ねじ込み後の位置決めで戻すとエア漏れの原因となります。

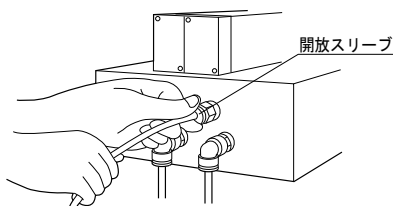
使用環境

・・継手を静電気の帯電が問題となる場所には使用しないでください。システムの不良や故障の原因となります。
・・ワンタッチ継手をスパッタが発生する場所で使用される場合は、F/Mシリーズを使用してください。
・・切削油、潤滑油やクーラント油などの液体が直接かかる環境では使用しないでください。

チューブの着脱操作

チューブの装着

・チューブを直角に切断してください。（外周に傷がないことを確認してください）
・チューブをゆっくり奥まで差し込んでください。
・奥まで差し込んだら、チューブを軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

チューブの離脱

・ゲージ圧力を0にしてください。
・開放スリーブを十分に押し込み、チューブを引き抜いてください。

・開放スリーブの押し込みが悪いと、逆にチューブがくい込み、抜けにくくなります。
・引き抜いたチューブのくい込み部分は再使用の場合は、必ず切断して使用してください。

保守点検

・定期点検において、下記のことを確認し、異常がある場合は交換してください。
　1）傷、打痕、摩耗、腐食
　2）エア漏れ

仕様

使用流体	圧縮空気	真空	水
使用温度範囲	－5～＋60°C		＋5～＋40°C
使用圧力範囲	0～1MPa	－100kPa～0	0～0.3MPa
推奨チューブ	ナイロンチューブ(N2シリーズ) ウレタンチューブ(TEシリーズ)		
販売単位	10個		

･使用圧力範囲および使用温度範囲については、チューブの仕様を確認してください。

内部構造

（樹脂本体タイプ）

（金属本体タイプ）